

# 全国救急隊員シンポジウム事業

## 全国救急隊員シンポジウムとは

全国の救急隊員が研究発表等を通じて意見交換を行い、相互の交流と親睦を図る場として平成4年から年1回(2日間)開催地消防本部と一般財団法人救急振興財団との共同主催で開催している。

### 堺市では初めての開催です

#### 開催日時

令和3年1月28日(木)、29日(金)の2日間

#### 場所(2会場 同時開催)

フェニーチェ堺  
(堺市堺区翁橋町2丁1番1号)

ホテル・アゴラ リージェンシー大阪堺  
(堺市堺区戎島町4丁45番地1)

#### 参加予想人数

約7,500人(2日間の延べ人数)

#### 経済波及効果(推計)

約1億4,800万円

堺市で全国規模のシンポジウムを開催することは、多数の参加者が訪れることによる経済的効果や堺の歴史・文化のPR効果が期待できる

### 目的

我が国の救急体制の一層の振興と消防機関の行う救急業務の充実と発展

### 参加対象者

- ①救急隊員及びその他の消防職員
- ②都道府県、市町村等の消防防災関係者
- ③医療・福祉関係者、救急救命士
- ④その他関係者(救急救命士養成校の学生等)

### 内容

#### 【教育講演】

救急業務における話題等について教育的視点から講演

#### 【シンポジウム】

テーマについてシンポジストが意見提示および討議を行う

#### 【パネルディスカッション】

テーマに沿いパネリストが発表、それらに対する考えを討議

#### 【スキルトレーニング・スキルレクチャー】

救急処置の手技の解説やトレーニングを行い、技術の向上を目指す

#### 【一般発表】

全国の消防職員に演題募集し症例等の発表を行う

### 過去の開催状況

【北海道】  
札幌市(第12回、第24回)

【東北地方】  
仙台市(第1回、第28回)

【関東地方】  
千葉市(第4回、第26回)・東京都(第9回)  
横浜市(第11回)・川崎市(第13回)  
さいたま市(第15回)・相模原市(第23回)

【中部地方】  
名古屋市(第6回)・新潟市(第14回)  
静岡市(第16回)・金沢市(第18回)  
浜松市(第20回)

【近畿地方】  
神戸市(第2回、第25回)  
京都市(第5回)・大阪市(第10回)

【四国地方】  
松山市(第19回)・高松市(第27回)

【中国地方】  
広島市(第7回)・岡山市(第21回)

【九州地方】  
北九州市(第3回、第22回)  
福岡市(第8回)・熊本市(第17回)